

安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2016/06/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: アミド硫酸
会社名: 高杉製薬株式会社
住所: 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号: 092-621-1231
FAX番号: 092-621-6269

2. 危険有害性の要約

GHS分類: 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A
水生環境有害性(急性): 区分3
水生環境有害性(長期間): 区分3

GHSラベル要素:



注意喚起語: 警告
重要危険有害性: 皮膚刺激
強い眼刺激
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き:

[安全対策]
取扱い後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ただちに医師に連絡し指示を仰ぐこと。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[廃棄]
内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 単一製品
化学名: アミド硫酸
別名: スルファミン酸
濃度又は濃度範囲(含有量): 99.9%以上
化学特性(化学式): HOSO_2NH_2
分子量: 97.095
官報公示整理番号:
(化審法・安衛法) 1-402
CAS No.: 5329-14-6
危険有害成分: アミド硫酸

4. 応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の手当を受ける。体を毛布などでおい、保温して安静を保つ。
皮膚に付着した場合: 多量の水及び石鹸で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗った後、重曹水で洗い医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合: 大量の牛乳又は水を飲ませる。無理に吐かせてはいけない。もし吐いた時は重曹水を飲ませる。直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性：	火災時に刺激性又は有毒なヒューム(もしくはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法：	本品は不燃性であるが、加熱されると分解し有害な亜硫酸ガス、アンモニアガスを発生する。火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護：	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和：	飛散したものは掻き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	強酸性物質なので、アルカリ性物質との接触を避ける。 目及び皮膚への接触を避ける。
注意事項：	容器を転倒、落下、衝撃を与える、引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないように注意し、みだりに粉じんを発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所に手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項：	吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
保管	
安全な保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
技術的対策：	特になし
混触禁止物質：	データなし
安全な容器包装材料：	ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	粉じんが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
管理濃度 作業環境評価基準：	設定されていない
許容濃度	
OSHA PEL：	設定されていない
ACGIH TLV(s)：	設定されていない
日本産業衛生学会：	設定されていない
保護具	
呼吸器の保護具：	防じんマスク
手の保護具：	保護手袋
眼の保護具：	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状：	結晶
色：	白色
臭い：	データなし
pH：	水溶液は強酸性
融点：	～205°C(分解)
沸点(初留点)：	データなし
引火点：	データなし
自然発火温度：	データなし
爆発範囲(上限・下限)：	データなし
蒸気圧：	データなし
比重：	2.15
溶解度	
溶媒に対する溶解性：	水に可溶(17.5g/100ml)、エタノールに難溶、ピリジン、DMFに易溶。
n-オクタノール／水分配係数 log Po/w：	データなし
分解温度：	209°C<
その他のデータ：	蒸気比重：情報の入手が困難

10. 安定性及び反応性

安定性：	乾燥状態で安定。
危険有害反応可能性：	強い酸性化合物。還元性があり、塩素、臭素、発煙硝酸などと激しく反応する。加熱すると分解し、窒素及び腐蝕性のヒュームとガス(亜硫酸、アンモニア)を生成する。水溶液は加水分解して硫酸水素アンモニウムを生じる。
避けるべき条件：	日光、熱、湿気
混触危険物質：	データなし
危険有害な分解生成物：	窒素酸化物、硫黄酸化物、アンモニア

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	ウサギを用いた試験(OECD TG404: GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果[IUCLID (2000)]、さらに別にウサギを用いた複数の試験では刺激性なし(not irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果[IUCLID (2000)]が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2とした。なお、1%溶液のpHが1.18との情報(Merck (14th, 2006))もある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた試験(OECD TG405: GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果[IUCLID (2000)]、さらに別にウサギを用いた複数の試験では中等度の刺激性(moderately irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果[IUCLID (2000)]が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2Aとした。なお、1%溶液のpHが1.18との情報(Merck (14th, 2006))もある。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(急性)：	水生生物に有害(区分3) 魚類(ファッドヘッドミノー)LC50=70.3mg/L/96hr(ECETOC TR91,2003)
水生環境有害性(長期間)：	長期間継続的影響によって水生生物に有害(区分3)
残留性／分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌の移動性：	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	焼却法 可燃性溶剤に溶解してスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、できるだけ高温で焼却する。 廃棄においては関連法規及び地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理委託する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号：	2967
品名：	(Sulphamic acid)
国連分類：	クラス 8 (腐食性物質)
容器等級：	PG III
海洋汚染物質：	非該当
注意事項：	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
船舶安全法(危規則)：	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法：	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
化学物質管理促進法(PRTR法)：	非該当
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

引用文献：

1. 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 化学工業日報社(1992)
2. 危険物防災救急要覧－化学物質の性状と取扱い－ (社)神戸海難防止研究会編 成山堂書店(1990)
3. 化学大辞典 共立出版(1993)
4. Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2003)
5. The Merck Index 13th Edition Merck&Co.Inc(2001)
6. 15911の化学商品 化学工業日報社(2011)
7. GHS混合物分類判定システム(Ver1.2)経済産業省
8. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の実用を前提としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、保証するものではありません。